

# 第14回日本毒科学会学術年会 プログラム

昭和62年7月23日(木)、24日(金)

産業医科大学 ラマツィーニホール

1987 北九州

# 第14回 日本毒科学会学術年会

期 間 昭和62年7月23日(木), 24日(金)

場 所 産業医科大学 ラマツイーニホール

会 長	土 屋 健三郎	(産業医科大学学長)
副 会 長	鈴 木 秀 郎	(産業医科大学病院長)
顧 問	石 西 伸	(九州大学医学部)
	金 戸 洋	(長崎大学薬学部)
	吉 村 英 敏	(九州大学薬学部)
実行委員長 実行委員	野 田 浩 司	(産業医科大学病院薬剤部)
	泉 太	(産業医科大学医学部)
	井 上 尚 英	(産業医科大学産業生態科学研究所)
	大久保 利 晃	(産業医科大学産業生態科学研究所)
	児 玉 泰	(産業医科大学医学部)
	馬 場 快 彦	(産業医科大学産業生態科学研究所)
事 務 局	吉 村 健 清	(産業医科大学産業生態科学研究所)
	峯 本 正 夫	(産業医科大学病院薬剤部)

### 事 務 局

〒807 北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号  
 産業医科大学 病院薬剤部内  
 ☎ (093)603-1611 内線3034, 3049

# 目 次

日程及び座長一覧表 .....	2
お知らせとお願い .....	4
会場案内 .....	6

## プログラム

教育講演 .....	9
シンポジウム .....	10
ワークショップ .....	11
一般演題 .....	12

## 日程及び座長一覧

月日	時刻	A会場(大ホール)	B会場(小ホール)
7 月 23 日  (木)	9:00	開会の辞	開会の辞
	9:05	一般演題 (A01～A09)  座長：A01～A04 江頭 亨 A05～A09 吉村 英敏	一般演題 (B01～B09)  座長：B01～B03 福島 昭治 B04～B06 戸部満寿夫 B07～B09 堀 真一郎
	11:00	教育講演L1  司会：土屋健三郎	
	12:00	評議員会 (多目的ホール、大学2号館4階)	
	13:10	一般演題 (A10～A13)  座長：A10～A13 小栗 一太	一般演題 (B10～B13)  座長：B10～B13 福田 英臣
	14:00	シンポジウム  司会：金戸 洋 井上 尚英  (S1～S3) 休憩 (S4～S6)	
	17:45		
	18:30	懇親会 (松柏園グランドホテル)	
	20:30		

月日	時刻	A会場(大ホール)	B会場(小ホール)
7 月 24 日 (金)	8:45	<p>一般演題 (A14～A24)</p> <p>座長：A14～A16 村岡 義博 A17～A21 佐藤 温重 上野 光一 A22～A24 泉 太</p>	<p>一般演題 (B14～B23)</p> <p>座長：B14～B18 齊藤 秀哉 坂口 孝 B19～B23 金津 赫生 堺 俊治</p>
	11:00	<p>教育講演L2 司会：土屋健三郎</p>	
	12:00		
	12:45		
	13:15	<p>ワークショップ 司会：林 裕造 遠藤 仁  (W1～W2) 休憩 (W3～W4)</p>	
	16:00	<p>閉会の辞</p>	

## お知らせとお願い

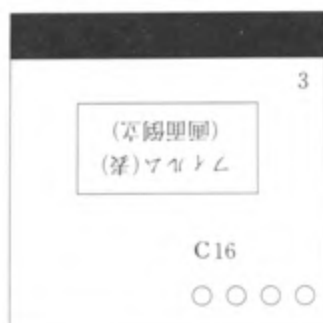
### I. 年会参加者の皆様へ

1. 予め参加登録をしてある方は、お手元の参加章（ネームカード）に所属・氏名をご記入下さい。
2. 参加章をお忘れの方又は紛失された方は、総合受付へお申し出下さい。
3. 当日参加の方は、当日受付にそなえつけの年会当日申込カードに該当事項を記入し、参加費（¥5,000）をお支払いの上、『参加章』及び『プログラム・要旨集』をお受取り下さい。
4. 学会受付は、午前8時15分より開かれています。
5. 会場に入場の際は、必ず参加章（ネームカード）を胸に着用して下さい。胸ポケットのない方は、総合受付でピン付きの名札入れをお受取り下さい。
6. 会場内は禁煙です。喫煙は、ホール又は控え室の灰皿のある場所で行なって下さい。
7. 追加発言や討論の採択、時間の調整など、会場内での進行については司会又は座長の指示に従って下さい。
8. 駐車場は大学病院前の一般駐車場をご利用下さい。総合受付で、駐車チケットをお渡しします。
9. 昼食は、大学病院内の食堂又は付近の食堂・レストランをご利用下さい。
10. 口演中のストロボ撮影は、固くお断り致します。
11. 懇親会（会費¥5,000）は、当日の申し込みも受け付けます。準備の都合上、なるべく早めに総合受付に御予約願います。
12. Lasagna教授の教育講演は、同時通訳をいたしますので、イヤホーンをご希望の方は受付でイヤホーン番号、所属、氏名をご記入の上お受取り下さい。講演終了後は速やかに受付へ御返却下さい。

### II. 演者の方々へ

#### 1. 一般演題

- 1) 口演時間は10分以内、討論・交代は2分以内です。時間を厳守して下さい。
- 2) スライドは1演題10枚以内とします。
- 3) 発表の中止、演者の変更などは、なるべく早めに年会事務局（会期中は各会場受付）にお申し出下さい。
- 4) プロジェクターは1会場1台です。同一スライドを繰り返して使用される場合には、映写回数の枚数を御用意下さい。
- 5) スライドは、35mmフィルム（枠の大きさ50mm×50mm）を使用し、画面は横型として下さい。
- 6) スライドには次に示す必要事項を明記して下さい。



← 赤く塗る

← スライド番号

← 講演番号

← 演者名

- 7) スライドは予定時刻の**30分前**（早朝は**15分前**）までに、**各会場の受付**にお渡し下さい。発表後、同じ受付でスライドをお受取下さい。
- 8) スライドをお渡しになる際に、『**J. Toxicol. Sci.**』に掲載する英文抄録を御提出願います。
- 9) 次演者は、**早めに最前列の次演者席**にお着き下さい。
- 10) 口演中は、**座長の指示**に従って下さい。

## 2. シンポジウム・ワークショップ

- 1) 口演時間は、**25分**です。時間を厳守して下さい。
- 2) スライド枚数は、特に制限致しません。
- 3) その他の点は上記『**一般演題4)～10)**』を御覧下さい。

## Ⅲ. 座長・司会者の方々へ

1. 当日は、御担当予定時刻の**20分前**（早朝は**10分前**）までに、**各会場の座長受付**で到着の旨を御登録願います。
2. 次座長は、**早めに次座長席**にお着き下さい。

## Ⅳ. 評議員会について

7月23日(木) 12:00より、多目的ホール（大学2号館4階）にて開催致します。

## Ⅴ. 総会について

7月24日(金) 12:45より、A会場（大ホール）にて開催致します。

## Ⅵ. 懇親会について

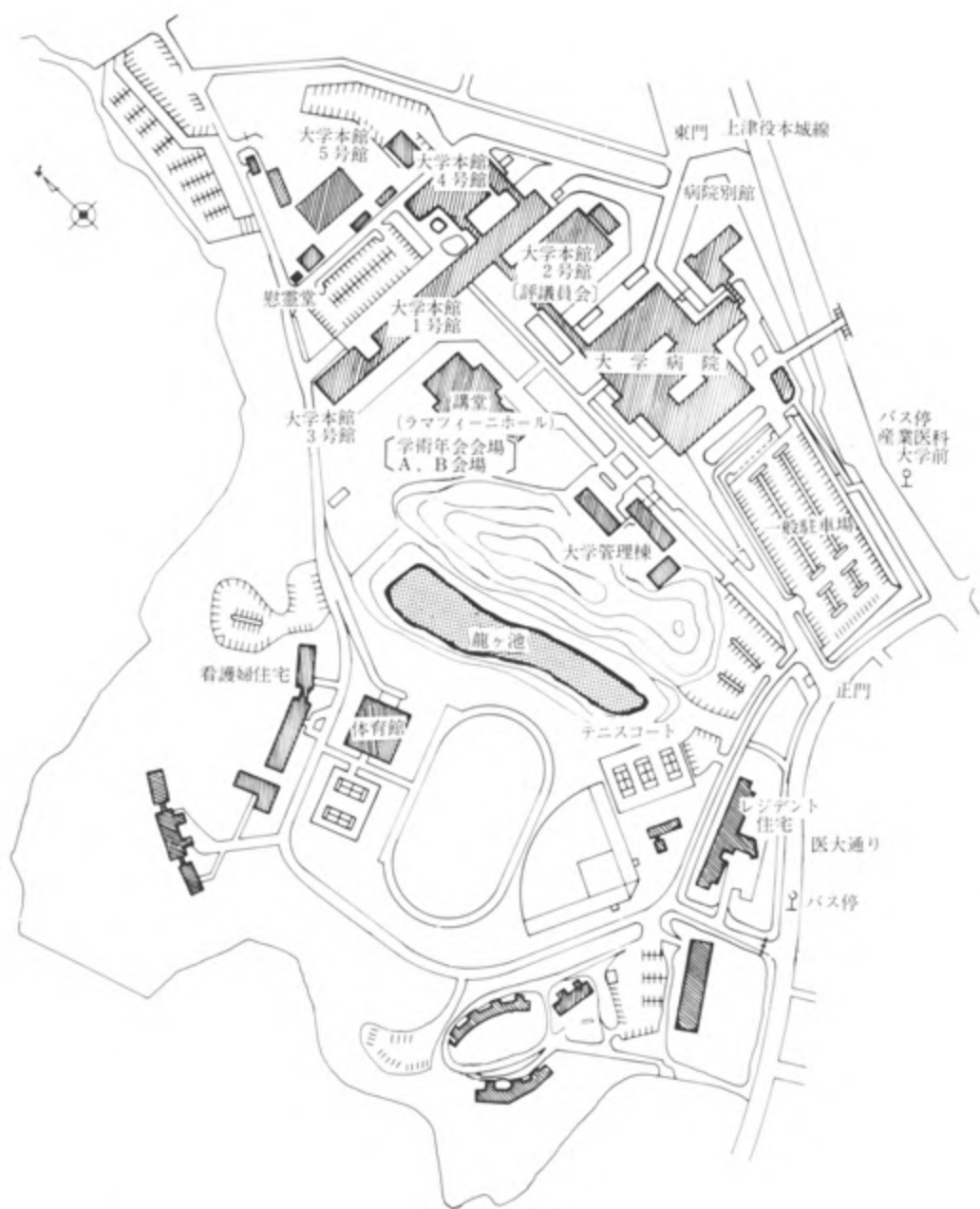
7月23日(木) 18:30より、松柏園グランドホテルにて開催致します。ホテルまでは、バスにて御案内致します。

会場の**受付**で懇親会参加証をお渡しの上、御入場下さい。





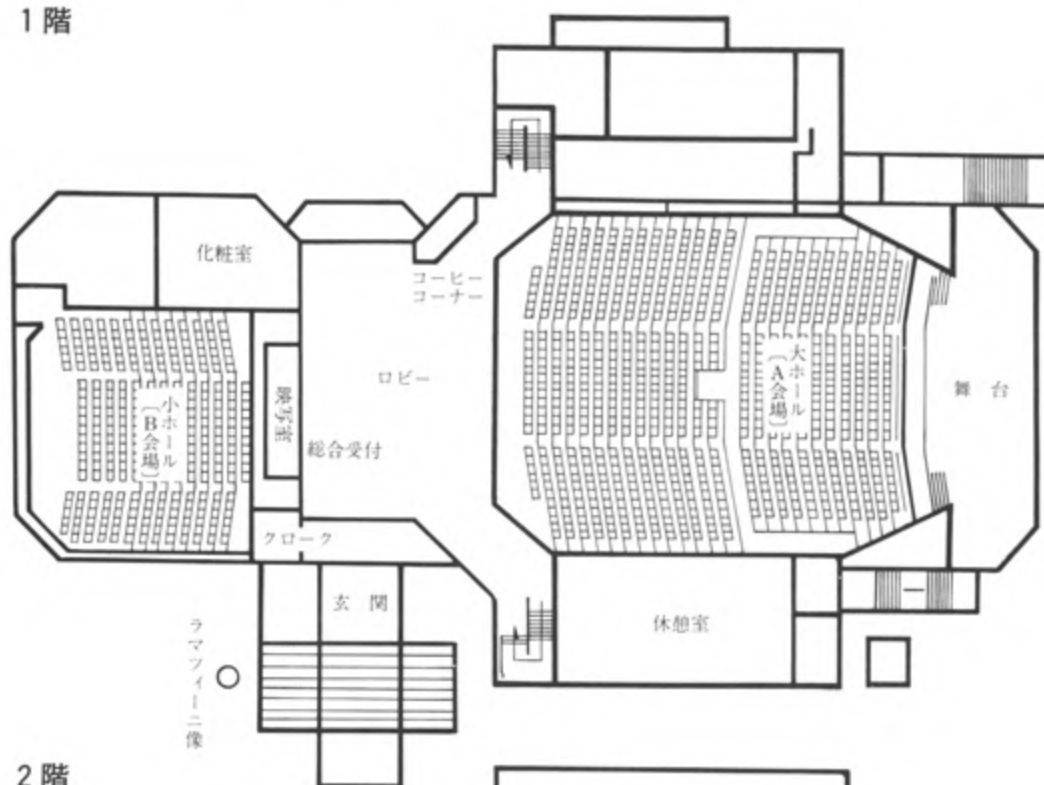
## 産業医科大学施設案内



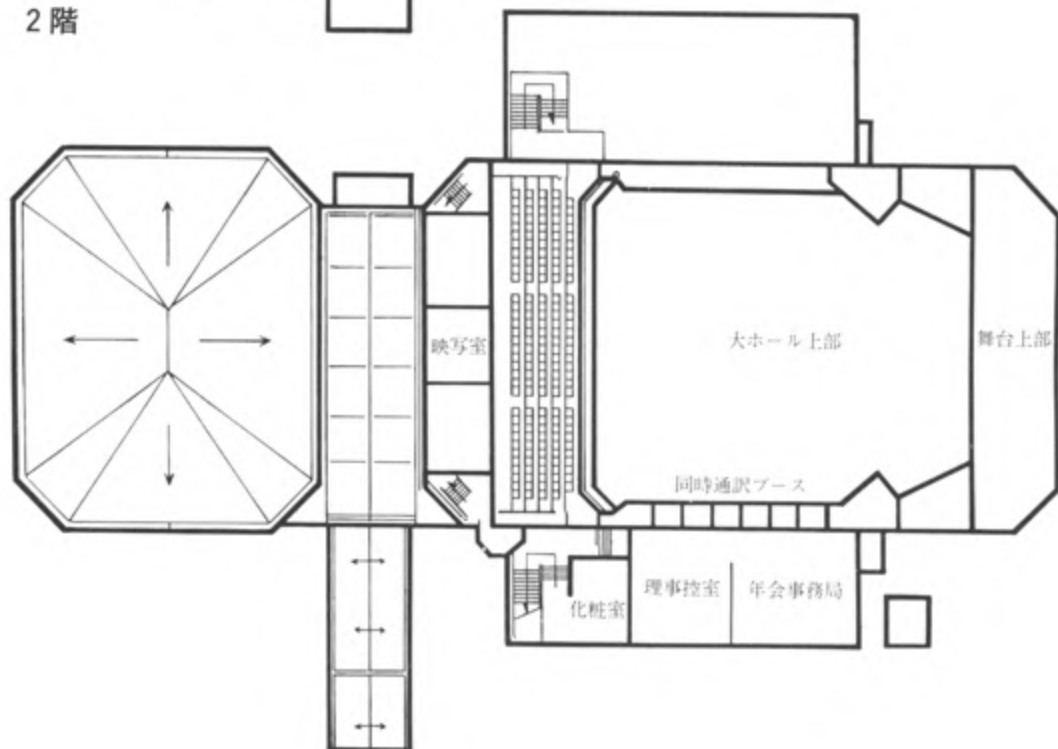
駐車場は大学病院前の一般駐車場をご利用下さい。総合受付で、駐車チケットをお渡しします。

学術年会会場(ラマツイーニホール)内見取図

1階



2階



## 教 育 講 演

7月23日(木), 11:00~12:00

A会場 (大ホール)

司会：土屋健三郎 (産業医大・学長)

- L 1. Predicting Human Drug Safety from Animal Studies : Current Issues  
Dr. Louis Lasagna  
(Sackler School of Graduate Biomedical Sciences, Tufts University)  
《同時通訳をいたします。ご希望の方は受付でイヤホンをお受取下さい。》

7月24日(金), 11:00~12:00

A会場 (大ホール)

司会：土屋健三郎 (産業医大・学長)

- L 2. 経済学からみた医薬品開発

藤野 志朗

(中央大・経済)

# シンポジウム

7月23日(木), 14:00~17:45

A会場 (大ホール)

〈テーマ：長期毒性——その考え方と評価〉

司会：金戸 洋 (長崎大・薬・薬物)

井上 尚英 (産業医大・生態研・環境中毒)

S 1. 長期毒性検索の方法論的展望

柳田 知司 (実中研・前臨床医学研)

S 2. 薬理学的立場から

高仲 正 (国立衛試・安全性生物研・薬理)

S 3. 病理学的立場から

伊東 信行 (名市大・医・第一病理)

S 4. 臨床の立場から

上田 豊史 (九大・医・泌尿器科)

S 5. 産業医学の立場から

児玉 泰 (産業医大・衛生)

S 6. メーカーの立場から

高垣 善男 (中外製薬・開発研)

## ワークショップ

7月24日(金), 13:15~16:00

A会場 (大ホール)

〈テーマ：長期毒性評価とその問題点〉

司会：林 裕造 (国立衛試・安全性生物研・病理)  
遠藤 仁 (東大・医・薬理)

- W1. 長期毒性と加齢による非特異的病変  
真坂 敬三 (残留農薬研)
- W2. 薬物代謝と長期毒性評価  
佐藤 哲男 (東薬大・第一薬理)
- W3. 短期試験法による長期毒性の予測  
○石館 基, 祖父尼俊雄  
(国立衛試・安全性生物研・変異原性)
- W4. 次世代に及ぼす長期毒性の評価法  
藤井 儔子 (帝京大・医・薬理)

# 一般演題

7月23日(木)

A会場 (大ホール)

9:00 開会の辞

9:05~9:53 座長:江頭 亨 (大分医大・薬理)

9:05 A01. 血液透析患者における透析前後の血中モノアミン濃度の変動  
○斉藤秀哉, 南 勝\*, 遠藤 泰\*, 松本真知子, 河口道夫\*\*  
(北大・医・薬理1, \*東日本学園大・薬・薬理, \*\*河口内科)

9:17 A02. 赤血球の化学的分断現象について  
○金津赫生, 小林勇二郎  
(筑波大・医療技術短大)

9:29 A03. カニクイザル末梢血リンパ球のsubpopulationの同定  
○相良奈美, 古濱和久, 野村 護, 小野寺 威  
(第一製薬・中央研・安全研)

9:41 A04. Myeloperoxidaseを用いた顆粒球減少症のin vitro検出法  
○角 明美, 松本一彦, 山本 宏  
(東洋醸造・リサーチセンター・安全研)

9:53~10:53 座長:吉村英敏 (九大・薬・衛生裁判化学)

9:53 A05. 諸種動物及びヒト肝ミクロゾームによるT-2トキシンの脱アセチル化反応  
○柳 在泉, 佐藤哲男\*, 上野芳夫  
(東理大・薬・毒性, \*東薬大・薬・第一薬理)

10:05 A06. ラット卵巣内カルボニル還元酵素の局在性と卵巣機能における意義  
○稲津教久, 岩田修永, 稲葉二郎, 石原一寿, 佐藤哲男  
(東薬大・第一薬理)

10:17 A07. ラット肝カルボキシルエステラーゼアイソザイムRL1およびRH1の肝, 腎における分布と誘導に関する免疫組織化学的検討  
○石原一寿, 真木多賀子, 細川正清, 佐藤哲男  
(東薬大・第一薬理)

10:29 A08. イソニアジド肝毒性の発現ならびにリファンピシン併用による増強機構  
○野田敦子, 野田浩司\*  
(九大・薬, \*産業医大・病院薬剤)

10:41 A09. 2, 3肝毒物による血清中の逸脱Monoamine Oxidase(MAO)  
○小畑俊男, 江頭 亨  
(大分医大・薬理)

13:10~13:58

座長：小栗一太

(九大・薬・衛生裁判化学)

13:10 A10. ラットにおける貧血と肝細胞壊死

○堺 俊治, 岡宮英明, 三木壽雄

(山之内製薬・開発研・安全研)

13:22 A11. Ifosfamideによる膀胱障害とその抑制

○村岡義博, 渡辺 弘, 松井信志, 矢原 功, 奈良 博,  
笠井久司, 青山定夫

(塩野義製薬研・神崎川分室)

13:34 A12. シスプラチンによるラット尿中酵素活性の変動に対する抗酸化剤の影響

○玄番宗一, 福石信之, 中野さち子

(大阪薬大・薬理)

13:46 A13. アロプリノール投与によるラット腎臓過酸化脂質の増加について

○鈴木義裕, 須藤純一

(東日本学園大・薬・毒理)



7月24日(金)

A会場 (大ホール)

8:45~9:21 座長:村岡義博 (塩野義製薬研・神崎川分室)

8:45 A14. アミノグリコシド系抗生物質の腎毒性機序に関する研究(3)  
培養腎上皮細胞への影響

○清宮健一, 松下直子, 暮部 勝

(明治製薬・薬理安全研)

8:57 A15. 腎由来培養細胞により再形成された単層上皮による毒性評価

○小沢和子, 森末裕行, 桑井康宏, 佐藤温重, 丸茂文昭\*

(東京医歯大・歯・第二理工, \*北里大・医・内科)

9:09 A16. 骨髄幹細胞(CFU-C, CFU-S)を用いたAzathioprine, Bredinin, Levamisoleの骨髄毒性評価

○松本一彦, 藤井博子, 山本 宏

(東洋醸造・リサーチセンター・安全研)

9:21~10:21

座長:佐藤温重 (東京医歯大・歯・第二理工)

上野光一 (千葉大・薬・薬効安全性・薬物)

9:21 A17. 食品化学物質によるin vitro細胞老化について

○笠巻明子, 浦沢正三

(札幌医大・医・衛生)

9:33 A18. 生殖毒性試験の代替法に関する研究(第一報)ラット全胚培養法による方法について

○横山 篤, 須田 宏\*, 大滝義博\*, 古橋忠和\*, 仲吉 洋\*,  
江藤一洋

(東京医歯大・歯・顎研発生, \*野村生科研)

9:45 A19. ラット上頸部交感神経節の蛋白質合成能におよぼすメチル水銀の影響

○堀真一郎, 杉浦弘子, 大谷幸子, 平林民雄\*, 椿 忠雄\*\*

(東京都神経研, \*筑波大, \*\*都立神経病院)

9:57 A20. ラット胚細胞培養と全胚培養系による胎仔毒性物質の検索

○土屋利江, 高橋 惇, 朝田総一郎\*, 高久保文恵\*, 江藤一洋\*

(国立衛試・医化, \*東京医歯大・歯)

10:09 A21. ラット胎仔培養法における薬物代謝酵素系の導入に関する基礎的検討

○小出浩美, 上野光一, 石野章博, 大森 栄, 五十嵐隆,  
北川晴雄

(千葉大・薬・薬効安全性・薬物)

10:21~10:57

座長：泉 太

(産業医大・薬理)

- 10:21 A22. マウス横隔膜神経筋標本においてネオスチグミンにより増強される単収縮におよぼす薬物の影響  
○大谷裕也, 西村昌数, 矢ヶ崎 修  
(大阪府大・農・家畜薬理)
- 10:33 A23. 脱分極によるボツリヌスA型毒素の作用の促進  
○西村昌数, 小崎俊司\*, 阪口玄二\*  
(大阪府大・農・家畜薬理, \*獣医・公衆衛生)
- 10:45 A24. 無麻酔・無拘束ネコにおけるERG及びVEPの記録法  
○今井良悦, 神子田武, 鈴木祥太, 佐藤秀蔵, 千葉祐広  
(武田薬品・中央研)

7月23日(木)

B会場 (小ホール)

9:00 開会の辞

9:05~9:41 座長：福島昭治 (名市大・医・第一病理)

9:05 B01. マウスに対するニバレノールの慢性毒性に関する研究  
柳 在泉, ○山村 久, 大坪浩一郎\*, 上野芳夫  
(東理大・薬・毒性, \*東京都老人研・第一臨床病理)

9:17 B02. マーモセットによるマイトマイシンCの長期毒性試験  
○松本清司, 落合敏秋, 関田清司, 川崎 靖, 安原加寿雄,  
中路幸男, 降矢 強, 戸部満寿夫  
(国立衛試・安全性生物研・毒性)

9:29 B03. 2-Mercaptoimidazoline(2-MIZ)の毒性に関する研究(第4報)慢性毒性試験  
○金子豊蔵, 安原加寿雄, 池田康和, 鈴木幸子, 鎌田栄一,  
小川幸男, 戸部満寿夫  
(国立衛試・安全性生物研・毒性)

9:41~10:17 座長：戸部満寿夫 (国立衛試・安全性生物研・毒性)

9:41 B04. Vitamin Pの亜慢性毒性試験  
○小木曾正, 倉田 靖, 田川義章, 近藤 光, 伊東信行  
(名市大・医・第一病理)

9:53 B05. CaptafolのF344ラットにおける亜慢性毒性試験  
○倉田 靖, 広瀬雅雄, 福島昭治, 山田真弓, 伊東信行  
(名市大・医・第一病理)

10:05 B06. 三種のトリハロメタンの毒性に関する研究(その1)  
○会田喜崇, 高田幸一, 門馬純子, 齊藤 実, 安原加寿雄,  
内田雄幸, 小林和雄  
(国立衛試・安全性生物研・毒性)

10:17~10:53 座長：堀真一郎 (東京都神経研)

10:17 B07. 臭化メチルの神経毒性  
○本間健資  
(労働省・産業医学総合研)

10:29 B08. アルコールの農薬毒性に及ぼす影響  
○中島信明, 真板敬三, 小坂忠司, 白須泰彦  
(残留農薬研)

10:41 B09. p-Dichlorobenzene(p-DCB)の毒性に関する吸入と経口投与による差異について

○梅村隆志, 高田幸一, 中路幸男, 若菜雅美, 小川幸男,  
鎌田栄一, 金子豊蔵, 戸部満寿夫

(国立衛試・安全性生物研・毒性)

13:10~13:58

座長: 福田英臣

(東大・薬・毒性薬理)

13:10 B10. 2,2'-メチレンビス(4-エチル-6-tert-ブチルフェノール)の毒性に関する研究(その1)

○高木篤也, 門馬純子, 会田喜崇, 吉本浜子, 鈴木幸子,  
高田幸一, 内藤克司, 大野泰雄\*, 中路幸男, 黒川雄二,  
戸部満寿夫

(国立衛試・安全性生物研・毒性, \*薬理)

13:22 B11. ToritoqualineとParaquat中毒

古瀬陽子, 赤堀文昭, ○新井成之, 政岡俊夫, 坂口和子\*

(麻布大・獣医, \*環境保健)

13:34 B12. パラチオン連続投与によるマウス継代的免疫毒性について

上野光一, ○安河内泉, 大森 栄, 五十嵐隆, 北川晴雄

(千葉大・薬・薬効安全性・薬物)

13:46 B13. Fenthionの吸入毒性における全身暴露と鼻部暴露の比較

○岩崎 真, 吉田 稔, 池田孝則, 津田修治, 白須泰彦

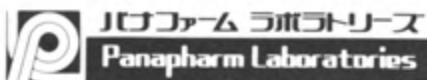
(残留農薬研)

7月24日(金)

B会場 (小ホール)

- 8:45~9:45 座長：齊藤秀哉 (北大・医・薬理1)  
坂口 孝 (ヘキストジャパン・総合開発研)
- 8:45 B14. アルコール連続摂取による自発行動および摂食行動の変化について  
○小坂忠司, 斎藤 徹, 真板敬三, 白須泰彦  
(残留農業研)
- 8:57 B15. ラットの活動性の概日リズムを指標とした一酸化炭素亜急性曝露の影響評価  
○宮川宗之, 佐藤光男, 本間健資, 長谷川弘道  
(労働省・産業医学総合研)
- 9:09 B16. ラットの飲水行動と水・電解質代謝におよぼすトルエン暴露の影響  
○有藤平八郎, 鶴田 寛  
(労働省・産業医学総合研)
- 9:21 B17. ラットの実験的高コレステロールと石灰沈着に対するマグネシウムの影響について  
○山本博昭\*\*\*\*, 藤代光一\*, 香山英一\*\*, 山本一郎\*\*\*,  
杉山玉枝\*  
(\*河野臨床医学研・実験病理, \*\*臨床化学, \*\*\*北里大・衛生・病理)
- 9:33 B18. ラット発癌促進における尿中Na<sup>+</sup>とpHの役割  
○柴田雅朗, 玉野静光, 増井恒夫, 朝元誠人, 福島昭治  
(名市大・医・第一病理)
- 9:45~10:45 座長：金津赫生 (筑波大・医療技術短大)  
堺 俊治 (山之内製薬・開発研・安全研)
- 9:45 B19. ラット肝を用いた発癌、発癌修飾物質のin vivo早期検索法 (rapid bio-assay): 発癌抑制物質の検出  
○宇和川賢, 今井田克己, 津田洋幸, 香川雅孝, 伊東信行  
(名市大・医・第一病理)
- 9:57 B20. 免疫組織化学検査におけるトリプシン消化の有用性  
○後藤鋼星, 稲津水穂, 小林孝好, 坂口 孝  
(ヘキストジャパン・総合開発研)
- 10:09 B21. LewisおよびF344近交系ラットにおけるetonitazeneの強化効果の相違  
○鈴木 勉, F. R. George\*, R. A. Meisch\*\*  
(星薬大・応用薬理, \*NIDA・ARC, \*\*Minnesota大・精神)

- 10:21 B22. ビーグル犬にフェノバルビタールを長期間投与したときの毒性学的変化  
(予備的検討)  
○石川敦子, 吉田俊夫, 澤野芳範, 花田貴宣, 三木寿雄  
(山之内製薬・開発研・安全研)
- 10:33 B23. マウスの毛周期 (hair cycle) に関する研究—特に系統差について—  
○宮川義史, 高橋道人\*, 林 裕造\*  
(日本たばこ・生物実験センター, \*国立衛試・病理)

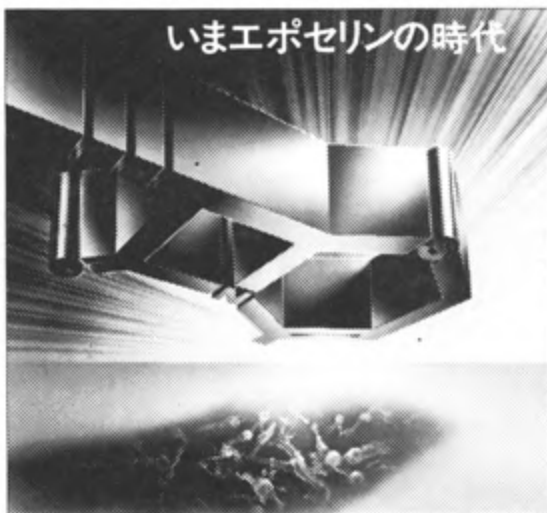


業務内容 / ■一般毒性試験(急性毒性試験、亜急性毒性試験、慢性毒性試験、幼若動物毒性試験) ■特殊毒性試験(発癌性試験、生殖試験、依存生試験、刺激性試験、光毒性・光感作試験、抗原性試験) ■薬物代謝試験 ■薬理試験 ■免疫生化学試験 ■コンサルタントサービス

株式会社  
**パナファーム・ラボラトリーズ**  
〒水原市土気葉崎町1285番地 TEL:0964123-5111(代表)・FAX:0964123-2978  
TEL:0964123-2299・FAX:0964123-2977(企画直通)

# より強く

いまエポセリンの時代



● 効能・効果、用法・用量、使用上の注意は製品添付文書を参照ください。

1. グラム陽性菌およびグラム陰性菌に広範な抗菌スペクトルを有し、特にグラム陰性桿菌に強い抗菌力を示します。
2. 従来のセフェム系抗生剤に耐性を示すセラチアなどにもすぐれた抗菌力を示します。
3.  $\beta$ -ラクタマーゼに対して強い抵抗性を示します。
4. 抗菌作用は殺菌的で、MIC以下の低濃度においてもすぐれた殺菌作用を示します。
5. 体液・組織内移行は良好で、活性のまま尿中に高濃度に排泄されます。

**フジサワ**  
大阪市東区通修町4丁目3番541

資本金100億円

合成セファロsporin製剤  
**エポセリン**® (注) (特) (商)  
静注用 筋注用  
〈日抗基33注射用セフチキシムナトリウム〉  
Epocelin® CZX ■ 健保適用

## SIBATA の動物実験装置

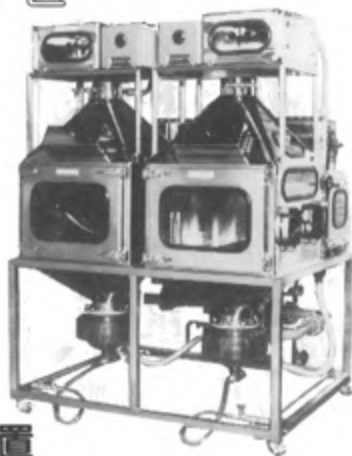
SIBATA

### ▶ 吸入実験装置

- 高濃度から低濃度まで広範囲の曝露
- 自動コントロール装置により、長期間安定した吸入実験が可能です
- 吸入チャンバー内の濃度分布が、非常に均一です



※仕様打合せの上設計、製作致します。



### ◀ 有機ガス発生装置

- 大容量の有機溶剤蒸気の作成
- 数系統への有機溶剤蒸気の供給
- 低濃度から高濃度まで、広範囲にわたっての濃度作成

**柴田科学器械工業株式会社**

本社 平110 東京都台東区池之端3-1-25 電話 (03) 872-2111  
営業所 大阪・名古屋・北九州・横浜

指  
要指

# ホスミシン<sup>®</sup>

S<sup>®</sup> 静注用  
カプセル  
ドライシロップ

小さな体で  
大きな力



〔静注用〕 ■ 効能・効果

緑膿菌、変形菌、セラチア及び多剤耐性のブドウ球菌、大腸菌のうちホスホマイシン感受性菌による下記感染症

- 敗血症 ●気管支炎、細気管支炎、気管支拡張症の感染時、肺炎、肺化膿症、膿胸
- 腹膜炎、腎盂腎炎、膀胱炎
- 子宮付属器炎、子宮内感染、骨盤死腔炎、子宮旁結合織炎、バルトリン腺炎

〔カプセル・ドライシロップ〕

■ 効能・効果

緑膿菌、プロテウス属、セラチア属、サルモネラ属、赤痢菌、カンヒロバクター属及び多剤耐性のブドウ球菌属、大腸菌のうちホスホマイシン感受性菌による下記感染症

- 癰、疔症 ●腸炎、細菌性赤痢
- 膀胱炎、腎盂腎炎 ●眼瞼炎、麦粒腫、睑板腺炎、涙囊炎
- 中耳炎、副鼻腔炎

〔用法・用量〕使用上の注意、等は製品添付文書をご覧ください。

健保適用

明治製薬株式会社  
104 東京都中央区京橋2-4-16

NEW  
ONCE-A-DAY  
RENIVACE<sup>®</sup>



高血圧症の治療に

## 理想へのアプローチ

優れた降圧効果と快適生活(Quality of Life)の維持

〔効能・効果〕本態性高血圧症、腎性高血圧症、腎血管性高血圧症、悪性高血圧  
※〔用法・用量〕使用上の注意、等の詳細については、製品添付の説明書をご覧ください。

新しいタイプのアンジオテンシン変換酵素阻害剤

## レニベース錠

(マレイン酸エナラプリル錠)

万有製薬株式会社

2-88RNT87-J-7710J







# 浮腫に



114

体力中等度の人で、胸脇苦満\*があり、尿量減少、口渴などを伴う場合に用いる

## サイレイトウ ツムラ柴苓湯

エキス顆粒(医療用)

### ■組成

本品9.0g中に下記の割合の混合生薬の乾燥エキス6.0gを含有する。

日局 サイコ(柴胡).....	7.0g
日局 タクシャ(沢瀉).....	5.0g
日局 ハンゲ(半夏).....	5.0g
日局 オウゴン(黄芩).....	3.0g
日局 ソウジュツ(蒼朮).....	3.0g
日局 タイソウ(大棗).....	3.0g
日局 チョレイ(猪苓).....	3.0g
日局 ニンジン(人參).....	3.0g
日局 ブクリョウ(茯苓).....	3.0g
日局 カンゾウ(甘草).....	2.0g
日局 ケイヒ(桂皮).....	2.0g
日局 ショウキョウ(生姜).....	1.0g

- すぐれた利尿作用が認められています<sup>1)</sup>
- 妊娠中毒症などに伴う浮腫の改善にすぐれた臨床効果が報告されています<sup>2)</sup>

(文献) 1) 年中増殖子: Proc. Symp. WAKAN-YAKU, 14, 105(1981)  
2) 木島彰子: 第72回日本婦科連合会地方部会総会(1986)

### ■効能・効果

吐き気、食欲不振、のどのかわき、排尿が少ないなどの次の諸症：  
水瀉性下痢、急性胃腸炎、暑気あたり、むくみ

### ■用法・用量

通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

\*胸脇苦満：心窩部より季肋部にかけて苦満感を訴え、抵抗・圧痛の認められる症状。

●使用上の注意等は添付文書をご覧ください。

### ●類似処方

40 ツムラ猪苓湯  
エキス顆粒(医療用)

117 ツムラ茵陳五苓散  
エキス顆粒(医療用)

- [17] ツムラ五苓散
- [20] ツムラ防己黄耆湯
- [36] ツムラ木防己湯
- [62] ツムラ防風通聖散
- [87] ツムラ六味丸
- [107] ツムラ牛車腎気丸

●本社・医薬事業部・平102 東京都千代田区二番町12番地7 ☎03(221)000109  
★ツムラ漢方製剤エキス顆粒(医療用)についてのお問合わせ、および学術資料のご請求は、最寄りの事業所へどうぞ。  
★ツムラ提供の「漢方医学講座」(ラジオたんぱ・田舎金曜日・午後8:10～8:40)が好評放送中です。

漢方を科学する  
**ツムラ**  
株式会社 津村順天堂



日本が生んだ  
**更に進歩したH<sub>2</sub>ブロッカー**

**1日40mg・持続性**

- 1日わずか40mgで、確実な臨床効果を示します。
- 20mg1錠で12時間以上、持続的で強力な胃酸分泌抑制作用を発揮します。
- 自覚症状を速やかに改善するとともに、各種消化性潰瘍に対し85%以上の治癒率を示します。
- 安全域(LD<sub>50</sub>/ED<sub>50</sub>)が極めて広いうえ、抗男性ホルモン作用薬物代謝酵素阻害作用などは認められていません。
- 胃粘膜保護作用を示します。
- 副作用は2.5%と少なく、いずれも軽度でした。

薬価収載



**効能・効果**

錠・散：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、上部消化管出血(消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による)、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群。  
注射用：上部消化管出血(消化性潰瘍、急性ストレス潰瘍、出血性胃炎による)、Zollinger-Ellison症候群。

H<sub>2</sub>受容体拮抗剤

**ガスター** 錠 20mg  
散 10%  
注射用 20mg

(ファモチジン製剤) **Gaster**

●用法・用量、使用上の注意については  
製品に添付の説明書をご覧ください。

**山之内製薬**

**∞へのアプローチ**



多剤耐性黄色ブドウ球菌、非発酵菌、クラミジアなどの感染症に優れた抗菌力。

- 多剤耐性の黄色ブドウ球菌、クレブシエラ、ヘモフィルス・インフルエンザに対してすぐれた抗菌力を示します。
- Opportunistic pathogensとして注目されているシュードモナス・セバシア、シュードモナス・マルトフィリア、シュードモナス・フルオレッセンス、アシネトバクター、フラボバクテリウムに有効な抗菌剤です。
- クラミジア属に対して強い抗菌力を示します。
- 少ない投与量(100~200mg/日)で高い血中濃度がえられます。
- 肝・腎・肺などの各臓器への移行性がすぐれています。
- 少ない投与回数(1日1回~2回)ですぐれた臨床効果が期待できます。
- 他にミノマイシンカプセル、錠、顆粒もあります。



点滴静注用

MINOMYCIN® INTRAVENOUS  
(FOR DRIP USE)

商品名 塩酸ミノサイクリン 薬価標準収載

●効能・効果、用法・用量、使用上の注意は添付文書をご参照ください。

輸入  
**日本レダリー株式会社**  
東京都中央区京橋1丁目10番3号

販売  
**武田薬品工業株式会社**  
大阪府東区道徳町2丁目27番地

# アクアライン

KC-7N型・KC-3000N型

流水式魚毒試験装置 PAT. P51-050517

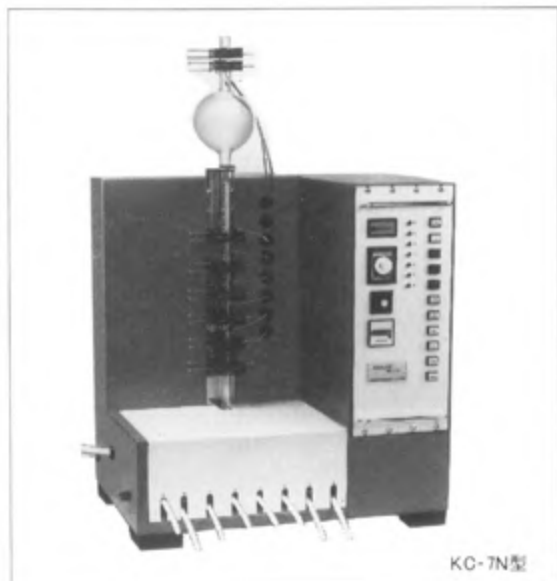
“化審法,

OECDガイドラインに対処”

## ■使用目的

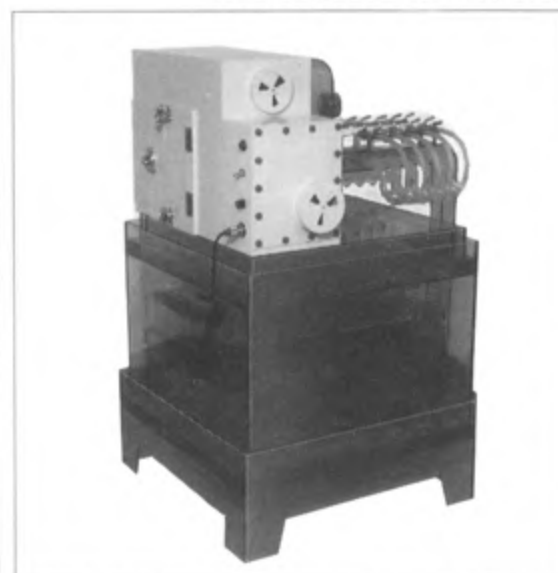
(化学物質の魚貝類に対する安全性評価)

- 淡水および海水産魚貝類を用いた亜急性慢性毒性試験
- 世代試験(繁殖に及ぼす影響)
- 化学物質の魚貝類による濃縮性試験
- 魚貝類による代謝試験
- 魚貝類による蓄積性および残留消失性試験
- 藻類に及ぼす影響試験



KC-7N型

## 噴霧感染装置 実願昭59-107963号



本装置は、実験動物の病原微生物呼吸器感染実験や微細粒子、農薬等の呼吸器吸入実験等に用いられる呼吸器吸入装置です。従来は、ネブライザーで発生させた煙霧を装置の上部から導入しましたが、煙霧は装置内で乱気流となって均一に拡散しなかったため、装置内の位置による動物の粒子吸入数のばらつきが大きく、煙霧の拡散の不均一が顕著でした。本装置は従来品の欠点を解消し、煙霧が装置内に均一に拡散し、しかも装置の組立から煙霧導入までを短時間でこなうことができる画期的な装置です。

## ■特長

- 小型だから場所をとりません
- 組立て式だから洗浄、収納が容易です
- 安全で操作が簡単です

●ラット、モルモット用/TSI-RM型 ●マウス用/TSI-M型

**IKD 株式会社 池田理化**

本社 東京都千代田区岩本町2丁目15番12号 〒101 TEL.03(861)6211(大代)

八王子 TEL.0426(42)0570(代表) 筑波 TEL.0298(24)2681(代表)  
三島 TEL.0559(75)0975(代表) 埼玉 TEL.0492(45)7831(代表)  
千葉 TEL.0463(21)2974(代表) 横浜 TEL.045(303)6621(代表)  
千葉 TEL.0436(22)3738(代表) 藤枝 TEL.0546(44)5551(代表)

# 広く、強く、 経口のタリビッド



## 抗生剤を超えた抗菌剤

# OFLX

★効能・効果、用法・用量、使用上の注意  
等は製品添付文書をご参照ください。



広範囲経口抗菌製剤

健保適用

# タリビッド錠

Tarivid Tab. (オフロキサシン錠)



第一製薬株式会社

東京都中央区日本橋三丁目14番10号

# 第14回日本毒科学会学術年会

## メインテーマ／長期毒性

期 日／昭和62年7月23日(木)および24日(金)

会 場／産業医科大学 ラマツィーニホール

北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

### 教育講演

司会 土屋健三郎 産業医大・学長

1. Predicting Human Drug Safety from Animal Studies : Current Issues  
Dr. Louis Lasagna (Sackler School of Graduate Biomedical Sciences, Tufts University)
2. 経済学からみた医薬品開発 中央大・経済 藤野 志朗

### シンポジウム 《長期毒性——その考え方と評価》

司会 金戸 洋 長崎大・薬・薬物

井上 尚英 産業医大・生態研・環境中毒

1. 長期毒性検索の方法論的展望 実中研・前臨床医学研 柳田 知司
2. 薬理学的立場から 国立衛試・安全性生物研・薬理 高仲 正
3. 病理学的立場から 名市大・医・第一病理 伊東 信行
4. 臨床の立場から 九大・医・泌尿器科 上田 豊史
5. 産業医学の立場から 産業医大・衛生 児玉 泰
6. メーカーの立場から 中外製薬・開発研 高垣 善男

### ワークショップ 《長期毒性評価とその問題点》

司会 林 裕造 国立衛試・安全性生物研・病理

遠藤 仁 東大・医・薬理

1. 長期毒性と加齢による非特異的病変 残留農薬研 真板 敬三
2. 薬物代謝と長期毒性評価 東薬大・第一薬理 佐藤 哲男
3. 短期試験法による長期毒性の予測 国立衛試・安全性生物研・変異原性 石館 基
4. 次世代に及ぼす長期毒性の評価法 帝京大・医・薬理 藤井 儂子

一般演題 47題

当日参加歓迎

会長：土屋健三郎

(産業医科大学学長)

連絡先：〒807 北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

産業医科大学 病院薬剤部内

第14回日本毒科学会学術年会事務局 野田 浩司

TEL. (093)603-1611 内線3034・3049